

■取組みの効果（定量的な数値）と今後について

■給食配送について まとめ

・安定した収入と利益

公共の配送業務のため、収入は安定。また、10年～15年と長期契約を結んでいるが、契約時に消費者物価指数と連動させ、人件費等物価上昇時にも収入に反映させ、利益も安定させることができる。

・一度獲得すると、継続しやすい

給食車両は専用車両のため、用意するのに時間がかかる。そのため、一旦参入すると他社は事前準備に時間がかかるため、参入が難しい

■今後と展開するには…

・児童数減少により、自校式からセンター方式へ

現在全国で約47%の小学校が自校式のため、今後児童数減少、学校の老朽化に伴い、センター方式への切り替えが進むと考えられ、配送業務の委託は増えると予想される。

・狙いは、「成り代わり」

自治体の職員は、食の安全を守るため給食の調理と管理に専念したい。配送の負担は年々増えるため、一般のお客様同様、自治体への成り代わり提案が有効

■更新前と後の年間の収入と利益（予想）

